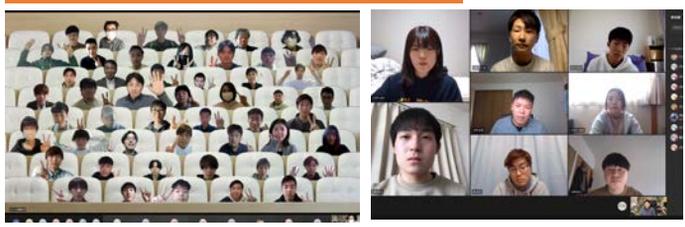




Pick Up News 建築学部162名の新入生を迎えて2021年度がスタートしました。新型コロナウイルス感染症の拡大もありますが、ほぼ予定通り前期を開始しています。オンライン授業は12日～、対面授業は26日～開始されます。いきなりオンライン対応が迫られる新入生、昨年に続いて大学に来ることができない2年生にとっては複雑な心境かと思えます。建築学の学びそのものの質が変わるわけではありません。目に前にあること、やるべきことを淡々と、着々とこなして行けば心配いりません。ただ、友人との交流、課外活動への参加など大学キャンパス内でしか経験できないこともあります。大学としては、昨年度の経験も生かしながら、感染予防対策を講じながら、可能な限りその機会を提供する思いで対応しています。日常生活での皆さん自身の心がけ、取り組みも不可欠となります。ともに乗り越えて行きましょう。



2021年4月入学生 (1年生 建築学部2期生)



162名の建築学部建築学科の新入生を迎え入れることができました。昨年は実施できなかった入学式も実施し、4/6のオリエンテーション後には、マスクを一瞬外しての記念撮影も行いました。ここで記念撮影では建築学科では初です。4/9には、大学院生のサポートのもとオンライン授業に備えてTeamsの接続の練習を兼ねてのワークショップも開催。そして4/12からはオンライン授業がスタートしています。「夢」と「目標」に向かって第一歩を踏み出しました。



2017年4月から毎月発行し続けてきた通信は、3月で丸4年となりました。全51号を一冊にしてまとめました。多くの学生の協力をもらって紙面を構成しました。これからもよろしくお願ひします。執筆希望者は遠慮なく石井まで連絡下さい！

各学年の成績優秀者表彰(学長表彰)もありました。昨年度1年間の成績、学年上位10%が表彰対象です。2年生は16名(GPA3.54以上)が表彰されました。なお3年生は3.31以上15名、4年生は3.24以上13名が表彰されています。



2020年4月入学生 (2年生)



Pick Up Lab. 建設業界は3K(きつい・危険・汚い)といわれ、職人・技能者の減少・高齢化が進んでいます。有川研究室ではこの10年、将来の住宅生産を担う人材の育成を図るために国土交通省が実施する「大工塾(昨年度は木造住宅・都市木造建築物における生産体制整備事業)」に参画しています。地域の木材を活用して地域の大工が建てる、地域に根ざした木造建築。学生にとってはものづくりの現場を体験できる貴重な機会になっています。現在業界では、新3K(高給与・休暇・希望)を謳った働き方改革も進行中です。大工職人と触れ合いながら、これからの日本における住宅生産のあり方を考えてみませんか。



写真1 地域の森林見学会



写真2 大工職人を対象とした講習会



3年 段志杰 さん
中国・山東省 出身

Pick Up Student 建築学科に興味のある高校生・留学生へ
工大に入って、本当に良かったと思います。大学では専門知識を勉強する事ができ、さらに卒業優秀作品展、民家建築、街づくり、ヨーロッパ研修などとても豊富多彩な活動もあり、活動に参加して、課題発見力、解決力も高まるし、自分の興味を発見し目標を立つ事ができ、大変充実した大学生活で過ごしています。留学生としての私に、学校から1対1のチューターを配属、定期的に勉強ができ、本当に学生の目線で学生の事を考えて、他の学校にはないだと思います。また、台湾やフランスの留学生との交流を通して異国の文化を体験し、スキーや温泉を行ったり、しました。私に助けてくれた先生、友達に大変感謝しています。



2年 細谷 大幸 くん
山形工業高校 出身

Pick Up Student 大学生1年目は、大学の雰囲気や生活に慣れることよりも、オンライン講義に慣れることに必死でした。テストやレポート等が全てオンラインでの提出になり、自分の対応力や計画性が試されました。まだ完全に慣れたわけではありませんが、この1年を無事に乗り切った事の達成感は大きく、自信にも繋がりました。週に数回の対面講義も充実したものになりました。特に建築設計です。高校では1人で取り組むのが基本でしたが、大学では少人数のグループで意見を交換しながら取り組むので、自分の発想力を超えた作品を作ることができました。進路についてはまだ決まっていませんが、選択肢を広げるためにも、今後は講義の他に宅建や二級建築士の資格勉強を頑張りたいです。